

# 学園だより

社会福祉法人 至誠学園立川  
**至誠学園**

平成 17 年 9 月 1 日

〒190-0022 東京都立川市錦町 6-26-15

TEL 042-524-2601 FAX 042-524-2367

HP <http://www.shisei.org> e-mail [info@shisei.org](mailto:info@shisei.org)

発行責任者 施設長 高橋 久美子



## 学園の園庭にカサブランカが咲きました

いつも変わらぬみなさまのご支援に心より感謝を申し上げます。

平成 17 年度、はじめてのお便りをお届けいたします。学園の子どもたちの生活も時代とともに変わりつつあります。大きな家族としての認識から、より個々の子どもたちの問題を理解し成長支援をする個別化を意識し、その未来を創造しつつ、いま、どの様に接していくのか模索する毎日です。児童福祉司や臨床心理士、精神科医、弁護士の先生方の日常的なコンサルテーションや関わりを得ながら、子どもたちにとって学園が最善の有効な生活支援の場となるよう全職員とともに日々努力しています。よろしく願いいたします。

施設長 高橋 久美子

さて、上の写真は昨秋、徳井美千代様からいただいた沢山のカサブランカの球根を、子どもたちと植えたものが花開いた写真です。一学期の終わりの日に、子どもたちのお世話になっている五つの小中学校にお持ちして、大変喜ばれました。この新しい園庭の土地は昭和 43 年、元園長ががんで急死し、元園舎建設資金の返済資金として売却した隣地でしたが、今日競売に出されたのを機会に三田後援会長様のお力添えと理事会のご理解を得て、長期の借入金をもって購入しました。児童の自立支援や積極的養護、スタッフ研修などの場として利用することを計画しています。

統括学園長 高橋 利一

地域で生きる ー至誠福祉セミナーを終えてー



至誠学園立川理事長 関岡 武次

至誠福祉セミナーが開催されました。至誠学園立川は、児童、高齢者、障害者の方々のために多面にわたる活動を行っていますが、職員同志の間で、日頃多種の施設の活動を知る機会はほとんどないので、このセミナーで行われる実践活動報告は、互いに大いに啓発されることが大きい。

ところで、「脱施設化」が叫ばれてきているが、そのほとんどは理想的に言われているのみで、特に東京のような大都市においては、さまざまな家庭環境、社会条件、殊に住宅事情、近隣社会状況が存在しているため、「脱施設化」の試みは困難性を持っている。

今回のセミナーで取り上げられた「地域分散型サテライト児童養護」の研究発表は、この点に於いて注目すべき内容を持っていた。それは、「地域化の推進」を課題の一つとして、取り上げていることである。

近年の児童が置かれている社会状況の中で、「地域」の問題が重視されているが、児童養護施設ではこの地域の意味がもっと多面的な意義を持っている。十分な家庭環境を持たなかった児童にとって、家庭的環境グループホームが家庭として見られるためには、学校を含む地域からの理解と支援が極めて重要だという視点にたつて、職員のさまざまな努力、工夫が紹介された。「開かれた施設」という考え方が、お客さんとしてではなく、地域の一員として認められるため、今後ともグループホーム制の良い点を伸ばしていけるよう一層の努力を願い、報告者に大きな拍手を送った。

平成 17 年度事業計画 ～至誠学園のMISSION(使命)～  
今年度は、次の 5 つの◎重点目標と<特別事業>を中心に取り組んでまいります。

◎重点目標「健全な運営基盤の確立」

- ・ 財政基盤の充実、後援会組織の拡充
- ・ 第三者評価及び苦情解決システムの活用
- ・ 中長期計画の策定
- ・ IT化の推進による先進的な文書管理
- ・ 個人情報保護法への対応

◎重点目標「地域における環境づくり」

- ・ 専門性の提供（子どもショートステイ、地域児童健全育成事業、など）
- ・ 地域児童福祉ネットワークへの参画
- ・ 児童福祉の啓発（ガーデンパーティー、講演会の開催）
- ・ サテライト型児童養護施設の推進

◎重点目標「子どもの権利擁護を基軸とした援助」

- ・ 子どもの権利ノートの活用
- ・ 改正児童福祉法による子どもの権利擁護の充実
- ・ 改正児童虐待防止法による社会的養護

<特別事業>

◎家庭的養護推進モデル事業(平成 17 年度東京都モデル事業)

(1)グループホーム支援サテライト型児童養護施設運営の試行

グループホーム（4ヶ所）及び地域小規模児童養護施設（1ヶ所）におけるケアをサテライト型ケアとして充実させていきます。グループホームを統括するワーカー及び心理治療を担当するスタッフによって内容を構築していきます。

◎重点目標「専門的かつ適切なケアの構築及び提供」

- ・ 自立支援計画の充実と活用
- ・ 専門的ケア技術の獲得、被虐待児への対応
- ・ ファミリーソーシャルワーカーの配置
- ・ 学習指導の強化
- ・ 豊かな食生活の推進、「食育」をテーマとして
- ・ NPO団体等、地域社会資源の活用

◎重点目標「子どもたちへの支援体制の強化」

- ・ 研修プログラムの強化、職員の能力開発
- ・ 手順書（マニュアル）の策定
- ・ ホーム運営方針の明確化
- ・ ボランティアの活用と養成
- ・ 児童相談所をはじめ、関係各機関との連携強化
- ・ 里親養育の推進、フレンドホームの活用
- ・ 職員のメンタルヘルスの充実

※近未来における児童養護のあり方を模索するモデル事業です。

(2)程度の重い問題を抱える児童への自立支援

本園に非常勤の児童精神科医師および治療・指導員を配置して、対応の難しい児童への自立支援のあり方について、備えるべき機能等についての検証を行ないます。

## 平成16年度事業報告概要

## 平成16年度収支決算報告

\*本部会計(至誠学園分)\*

### <子どもの権利擁護の推進>

平成16年度は、「児童福祉の一部を改正する法律」及び「児童虐待の防止等に関する法律の一部を改正する法律」の施行がされた意味深い年となりました。当園におきましても、独立行政法人福祉医療機構の助成により、被虐待児の処遇について新たな検討が行われ、また、子どもの権利擁護を基軸にした養護内容の構築として、「東京都子どもの権利ノート」等を活用した子ども達への人権教育や、児童の自治会活動等子ども達とともに生活を創る仕組み(生活グループの編成、行事や生活プログラム)、評価業者による福祉サービス第三者評価の受審を機会とした自己点検の実施等、子どもたちの最善の利益を求める活動を推進してきました。

### <今年度の新たな取り組み>

なかでも、平成16年度の新たな取り組みとして挙げられるのは、グループホーム「五番館」(立川市)の新設です。このグループホームを含めた全5ヶ所を地域の中で運営し、近未来における児童養護のモデルとして、地域分散型児童養護施設の施行を重ねて参りました。また、そのような現場実践を支えるシステムとして、IT化の推進による先進的な文書管理プログラムの開発をNPO組織や他の施設との協働で進めてまいりました。

### <児童の状況>

定員76名で年間を通してほぼ定員一杯の状況でありました。年度内での入退所はともに8名ずつで、そのうち就職自立が6名となりました。社会情勢厳しき折、快く受け入れていただいた各企業の皆様には、あらためて感謝を申し上げる次第であります。

### 実践研究報告書

#### <児童養護施設の被虐待児処遇プログラムづくり>

本実践研究は、独立行政法人福祉医療機構の助成を受けて、児童養護施設における具体的な施策へ反映する実践の展開したもので、地域分散型サテライト児童養護施設の施行、入所した子どもの社会自立支援システム、施設処遇の有効性に関する調査、学校で不適応を起こす被虐待児への支援、児童虐待を考える公開シンポジウムの開催という5つのもと、被虐待児などの処遇プログラムについて新たな検討が行われました。

#### 実態に合った記録システムが完成! - IT化促進委員会 -

かねてからIT化による施設システムの促進化が望まれていましたが、東京都共同基金会のご援助をいただき、NPOとの共同開発によって完成をみました。

学園の全職員のアンケートから、システム検討はNPOエンジェルサポートセンターとで、運営形態の異なる東京育成園、れんげ学園の参加により、汎用性のあるシステム開発を進めました。業者による導入は高価であり、財政面で困難性があることから、ボトムアップの開発を図り、学園は5ヶ所のグループホーム、4ヶ所の本園ユニットホームにおいて記録システムの一元化が可能となりました。このような手続きを踏むことで、全てのホームの情報、本園のサーバーに蓄積され、隔たれたグループホームの情報もリアルタイムで取得することが可能となりました。新たな領域の開発を重ね改良していく中で、希望される他施設への普及もNPOにより考えられています。

収入の部	決算額	摘要
寄附金収入	22,028,950	計 171件 福祉医療機構 子育て 4,853,000 東京都 施設整備補助金 1,722,000 東京都高齢者研究・福祉振興財団 借入金利息補助金 3,053,710 その他 2,644,000
補助金収入	12,272,710	
借入金収入	178,100,000	
積立金取崩	10,000,000	
その他	15,803,034	
収入合計	238,204,694	
支出の部	決算額	摘要
運営費	9,305,065	修繕、保守管理他 元金、利息
借入金返済	25,542,865	
土地購入費	178,100,000	土地購入借入金 設備利用料、バザー収入他
備品費	3,655,000	
積立金積立	10,000,000	
当期繰越金	11,601,764	
支出合計	238,204,694	

### \*施設会計\*

収入の部	決算額	摘要
措置費	220,120,865	国 東京都 立川市/日野市ショートステイ他 計8件 利用料収入他
補助金	115,933,904	
助成金	8,046,924	
寄附金	4,088,553	
その他	8,048,236	
収入合計	356,238,482	
支出の部	決算額	摘要
事務費	262,329,957	人件費、管理費他 食費、教育費、行事・余暇活動費 水道光熱費、他生活費
事業費	74,081,146	
その他	14,291,013	
当期繰越金	5,536,366	大学等進学、就職資金等
支出合計	356,238,482	

## 平成17年度収支予算計画

\*本部会計(至誠学園分)\*

収入の部	予算額	摘要
寄附金収入	20,619,000	東京都 施設整備補助金 1,722,000 立川市 施設整備補助金 672,000 東京都高齢者研究・福祉振興財団 借入金利息補助金 3,740,000
補助金収入	5,114,000	
借立金取崩	10,000,000	
その他	12,748,000	
収入合計	48,481,000	
支出の部	予算額	摘要
運営費	16,603,000	修繕、保守管理他 元金、利息
借入金返済	29,775,000	
備品費	1,000,000	設備利用料、バザー収入他
当期繰越金	1,103,000	
支出合計	48,481,000	

### \*施設会計\*

収入の部	予算額	摘要
措置費	223,693,000	国 東京都 立川市・日野市ショートステイ事業他
補助金	117,684,000	
助成金	9,426,000	
寄附金	1,200,000	
その他	3,612,000	
収入合計	355,615,000	
支出の部	予算額	摘要
事務費	272,567,000	食費、教育費、行事・余暇活動費 水道光熱費、他生活費
事業費	71,889,000	
その他	5,306,000	
当期繰越金	5,853,000	大学等進学、就職資金等
支出合計	355,615,000	

## 子どもたちの健やかな成長を祝う ガーデンパーティー大盛況で終わる！



(園庭で集合写真)

毎年恒例の児童福祉啓発事業のガーデンパーティー、今年も「こどもサンパ〜広がれ！夢と希望の輪〜」のテーマのもと開催されました。2月末に学園とボランティア団体代表による実行委員会が発足し、企画、実行計画の話し合いを重ね、3日間のワークキャンプを経て、当日を迎えました。

学園園庭と周辺の敷地を使い、各団体による遊びのコーナー、食事のコーナー、ステージなどのプログラムで、今年も総勢1300名を超える参加者数となりました。順番待ちの列が途切れないコーナーなども見られて大盛況でした。特に、ボーイスカウトのスライダー、モンキーブリッジ、カヌーの川下りは毎年恒例で、今年も文部科学省子ども居場所づくり事業のひとつとなりました。大人も子どもも参加者全員がこのイベントを心から楽しんでいました。

また、今年の記念パッチは、子ども達からイラストを募集し作成したもので、子ども達一人一人の個性が表れており、参加者からもとても好評でした。

今回の行事を通じ、改めて多くの参加団体・ボランティア・地域の方々からのご理解とご協力を実感することができました。  
(ガーデンパーティー実行委員会)

(参加者の皆さんに聞きました) ☆アンケートから☆  
貴重なご意見、ご感想を有難うございました。皆様の声を少し紹介させていただきます。(回答 大人 751名、子ども 499名)

### ① プログラム関係

- ・コーナーが無料でよかった、雰囲気がいぎやか(10代、女性)
- ・コーナーみんなで頑張っている様子が好印象(30代、男性)

### ② 食事関係

「食事おいしい」「カレーがおいしかった」などの声を多数いただきました。早くに食数が足りなくなるというハプニングがありましたが、今後につながる反省点とさせていただきます。

### ③ その他の感想

「とても楽しかった」「協力的、積極的な参加」「地域にすぐ開かれている」「また来たい」など肯定的なご意見をたくさん頂いたほか、「地域のためにますますのご活躍期待しております」「これからも地域に根ざした活動を続けて欲しい」など激励のメッセージも頂きました。

また翌日の小学校の教室では、朝会で代表の報告を聞き「昨日のパーティーとても楽しかった」と話題になったのを、授業支援で学校にうかがった職員が聞きました。改めて、ガーデンパーティーが地域に広がる行事のひとつとして確認されました。

## 地域活動の取り組みから

### ボーイスカウト立川第4団

各隊が日頃の練習の成果を試す時、今年も夏のキャンプを迎えました。ビーバー隊8/27、カブ隊8/19～21、ボーイ隊8/25～28、ベンチャー隊8/19～22の日程でそれぞれのキャンプを計画し、怪我の無いよう皆で頑張ってきました。

### ガールスカウト東京第158団

今年も八ヶ岳で全部門合同のキャンプを行ないました。総勢26名でハイキング、野外炊飯、キャンプファイヤーなど、スカウトとリーダーとして力を合わせて楽しいキャンプをしました。

### 至誠サイエンスクラブ都内散策

6月18～19日に23人の子どもと13人のスタッフで「新しくなった国立科学博物館で恐竜に会おう！」というツアーを実施しました。(株)パソナ本社とその地下にある農園“パソナO2(オーツー)”を見学してドレッシングをかけただけのサラダを何枚もおかわりをして、飯田橋の東京国際ユースホテルに宿泊した翌日は、改装された国立科学博物館で“恐竜博2005”を見学、復元された恐竜の骨格に目を奪われました。子どもたちの生き生きとした姿を見ることができ、大人も一緒になって楽しめるツアーでした。

### 至誠児童館トムソーヤの森

今年の夏も児童館では様々なプログラムを用意し、多くの皆様のご来館されました。子どもたちが気軽に楽器に触れて楽しめる音楽会や夏休みの工作にぴったりな時計の工作作り、朝から夕方まで行う大映画祭など盛り沢山の内容でした。

今後の詳しい日程やお申し込みなどは、児童館にてお配りしているお便りにてお知らせしてありますので、ぜひ一度児童館へ遊びに来て下さい。皆様のご来館を心よりお待ちしております。

### モンテッソーリ立川子どもの家

今年度は15名でスタートしました。日常生活ではきゅうり切り、色水作り、花の水替えが子どもたちに大人気で、他にも教教育や、自主的にお仕事を決めていきます。子どもたちは、4月から入園進級式、多摩動物公園遠足、ジャガイモ堀り遠足、夕涼み会、一泊保育、夏期保育などを経験し、秋以降にはブルーベリー狩りや東京立川ライオンズクラブ様との合同運動会、聖誕劇歌のクリスマス会が行われる予定ですので、皆で楽しみにして下さい。

今年の夏も勝浦で賑やかに過ごしました(7/27~8/20)

徳井美千代様にご寄贈頂いた陽美・勝浦の家にて、今年も楽しい夏のひとときを過ごさせていただきました。子どもたちは7つのグループに分かれ出発。海水浴や磯遊び、スイカ割り、バーベキュー、地域のお祭りや花火大会、朝市などに足を運び、充実した賑やかな3泊4日間を過ごしました。あるグループは、勝浦に滞在中、徳井様より夕食会にご招待頂きました。子どもたちは夏の海の思い出を抱えて帰ってきました。

軽井沢の家

<卓球部初合宿 I N軽井沢>

軽井沢の家にて卓球部初めての合宿が行われました。学園長先生顧問の卓球部では小中学生の男の子が多く活動しています。

卓球部合宿行事

<高校生合宿・学生ボランティア研究合宿>

開催に向けてそれぞれ準備中です。

東京都児童福祉施設都競技大会に参加(7/22)

本年も、東京都体育館で、東京都社会福祉協議会主催による東京都児童福祉施設都競技大会大会が行われました。

**ドッジ部**は、練習でボールが当たって泣いてしまっていた低学年の子も、試合になると気合充分で最後まで頑張り、大接戦の末1勝1敗で決勝トーナメントに進むことはできませんでしたが、子どもたちは“やれぼできる”という手応えを掴めたようです。

**バレー部**は、小・中学生の女の子達が“上手になりたい”という思いを持って熱心に練習に励みできました。結果としては1勝1敗でしたが、最後まで諦めない姿がみられた試合でした。子ども達からは悔しさとともに、次の大会に向けての意気込みを感じました。

江戸っ子杯野球大会(7/27、28)

**野球部**は、三鷹市大沢総合グラウンドにて、部員15名が試合に臨みました。選手宣誓を野球部主将時任君が立派に務め、試合に先立って、元巨人軍村田選手の始球式のボールを、当園1番バッターが見事に空振りし、試合がスタート。接戦の好ゲームでしたが、残念ながら2-1で負けてしまいました。その後の交流戦では打線が爆発し、コールド勝ちを収めました。

クロアチアのお友達へ、励ましの絵(7/16)



子ども地球基金とゴールドマンサックス証券様の協力のもとアートワークショップを行ない、内戦後のクロアチアの子供達に励ましとなるような作品を作りました。

テーマ：日本の四季(材料：和紙)

恒例の夏休み学童クラブ開催(7/25~29)

全5日間で職員、ボランティアのスタッフと延200人の子どもたちが参加。学習、工作、プール、バーベキューなどのプログラムを提供し喜ばれました。来年も楽しいプログラムを企画します。

二学期スタートの会(8/31)

夏休み数々の楽しい思い出を振り返るとともに、二学期に向けて、子どもたちの一学期の頑張りをみんなで認め合い、表彰が行われました。表彰の内容は、一学期の成績UP賞、無遅刻無欠席賞、幼児さんがんばり賞、早起きがんばり賞です。

各種ご招待行事を有難うございます

ラミレス選手のご招待(7/1)

ラミレス選手のご招待で、学園の野球部の子ども12人が神宮球場で大活躍のヤクルト球団ラミレス選手を応援してきました。



子どもたちに夢と感動を与えたいとの思いから、ラミレス選手より、62万8千円のご寄付と激励のお言葉を頂きました。



お礼に子どもたちは、ユニフォームをかたどった寄せ書きを渡しました。頂いたご寄付ではスポーツ用品を購入する予定です。

**横河電機様ご招待(4/17)** 横河武蔵野フットボールクラブ VS 愛媛FCのサッカー観戦にご招待頂き、学園のサッカーチームに所属している子どもたちは大満足でした。

**清原シートご招待(4/21)** プロフェッショナルマネジメント様のご招待で、子どもたち15人が清原選手のボックス席で選手のプレーを観戦してきました。サインボールのお土産までもらい、野球の練習に磨きがかかります。

**ワイワイ釣りハイクご招待(6/4)** テレビ朝日福祉文化事業団様のご招待で子どもたち16人が魚釣りとムツゴロウ王国を楽しむ一日でした。

**ボーリングご招待(6/21)** 今年も総勢50名が、立川スターレーン様からの“ボーリングの日”にちなむご招待を頂き、大いに張り切ってボーリングを楽しませていただきました。

**夏の音楽祭ご招待(6/28)** アリオン音楽財団様より、「アンサンブル・モデルン」のご招待を頂いた子どもたちは、感動と興奮で楽器の出す様々な音色について帰園後も話が止まりませんでした。音楽への関心をより一層深める機会となりました。

**フットサルご招待(7/9)** ゴールドマンサックス証券様、アディダスフットボールパーク渋谷様のご招待で、子どもたち9人がご指導を頂きながら、フットサルの楽しさを発見してきました。

**子どもミュージカルご招待(7/17)** 日本放送協会様のご招待により劇団四季・ミュージカル「魔法を捨てたマジョリン」を鑑賞する事ができました。帰り道でも子ども達が口ずさむような楽しいミュージカルでした。

**ソフィア合唱団ご招待(7/19)** テレビ朝日福祉文化事業団様にご招待頂き、ブルガリア少年少女合唱団の“天使の歌声”に子どもたちも真剣に耳を傾けていました。

**巨人vs中日ご招待(7/29)** 報知新聞社様からのご招待で、子どもたち8人が迫力満点のプロ野球試合を観戦しました。

**いなげやさんご招待(8/22~8/24)** 今年もいなげや労働組合様のご招待を頂き、山中湖の保養所に、子どもたち17人が富士登山やバーベキューなどをして夏の楽しい思い出を作りました。

**徳井様ご招待(8/26)** 徳井美千代様より、八王子市上恩方へブルーベリー狩りのご招待を頂きました。採れたての生のブルーベリーを味わい、沢山のブルーベリーをお土産に頂いた子どもたちは大喜びでした。

法政大学 高橋学園長指導によるゼミナール主催

次世代育成イベントに参加(8/8)

法政大学多摩キャンパスにて、「大学を利用した体験学習—夏休みは大学に行こう—」が開催されました。このイベントは、八王子市次世代育成計画に沿って企画・実行されたものです。学園でも子どもたち、職員が参加し、大学生ボランティアをはじめ、招待された地域の小学生、親御さん、様々な世代の方々とスポーツ交流やメディア体験、家作りなどの楽しい体験をしてきました。

## 故米澤先生のご冥福をお祈りします

学園の幼児教育、モンテッソーリ立川子どもの家を担当されていた米澤淑江先生が、病氣静養中のところ、8月16日の早朝、青森県のご実家でご逝去されました。享年61歳でした。

去年、定年で退職後、嘱託として今日まで18年間、学園の幼児教育につくされ、明るいお人柄とユニークなファッションは、職員や子どもたちに元気を与えて下さっていました。ご冥福をお祈りします。

## 第6ブロック学習会 (5/20)

法政大学教授清水幹夫先生をお招きして、三多摩地区にある児童養護施設職員約50名が「子ども達の起こす問題～それは宝物」というテーマのもと学習会に参加しました。

## 村瀬嘉代子先生の児童養護セミナー (6/13)

思春期に表れる子ども達の問題への対応の工夫や職員の連携の大切さについてお話を伺いました。村瀬先生には、子どもたちと職員が先生のご自宅にお招きを頂き、お食事と団欒のひとつときを過ごさせて頂きました。

## 皆川邦直先生のケースカンファレンス、 児童精神医学の視点から

小児精神科医皆川邦直先生を今年度より嘱託医としてお願いし、月1～2回開催する処遇研究会のケースカンファレンスで、困難な問題を抱える子どもや家族への相互理解、支援方法等を学んでいきます。

## 臨床心理相談室開設、室長に淑徳大学教授金子保先生

臨床心理プログラムが充実していく中で、本年より金子保先生に臨床心理相談室長をお願いし、統括して頂きます。

学園の相談室は、昭和39年に開設しましたが、その時に金子先生がご尽力下さいました。主任に奥村晴子、メンバーは西澤哲、加藤尚子、若松亜希子の各先生です。

## 海外研修派遣員に選抜される

当学園の日野キッズグループホームリーダーの丸山和恵職員は、第31回資生堂児童福祉海外研修派遣団の団員として選抜され、9/24～10/8にカナダの児童福祉の状況について視察に参加します。成果が楽しみです。

## 各種研修・セミナー等へ出向 (平成17年4月～)

口頃の実践活動などを、大学・他団体の要請で学園長、施設長の他、職員が講師として出向いています。

- ・ 風間俊秀職員、至誠福祉セミナー、大正大学で実践報告発表
- ・ 石田昌久職員、第7回ユニットケア全国セミナーにシンポジスト、児童のユニットホームの実践発表
- ・ 国分美希職員、武蔵野大学、子どもの虹センター、明治安田こころの健康財団のセミナーで講師
- ・ 石田芳朗職員、東村山市教育委員会研修で講師
- ・ 齋藤新一職員、日本ルーテル学院大学で実践報告発表
- ・ 福島尚樹職員、書記会新任研修で講師

## 夏バザーへのたくさんのご協力を

有り難うございました！

6月27日、真夏のような天候の中、子どもたちの夏期行事資金調達を目的としたバザーを開催しました。多くのボランティアの方々に、バザーの準備から当日の販売等お手伝いいただきました。多くの方々や企業様より心ある献品を戴き、バザーを開催することができたことを心より感謝致します。

バザー会場には、地域の皆さまへ児童養護施設の活動を理解していただくための学園紹介コーナーや子育て相談コーナー、子ども向けゲームコーナーを設けましたが、大変盛況で、私共の活動をご理解いただけたものと感謝しております。

金品のご寄贈と酷暑にも関わらずご来場いただいたお客様、また多くのボランティアの方々にお礼を申し上げます。おかげさまで約70万円の資金を得ることができました。感謝の気持ちをこめて、ここにご報告させていただきます。

(バザー実行委員会)

## 平成16年度 福祉サービス第三者評価を受審

当学園では、第三者評価を評価機関である株式会社全国経営センターで受審しました。第三者評価の結果は、財団法人東京都高齢者研究・福祉振興財団の福祉ナビゲーションホームページ上で公開されています。いつでもご覧になることができます。

ホームページアドレス

<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>

## 念願の倉庫整理、東京電力労働組合のみなさまで

旧園舎から移動した物品など未整理であった階下の倉庫を、東京電力労働組合多摩支部の皆さんで整理をしていただきました。広い室内を手際よく整理作業される姿とその行動力に、学園職員も目を見張りました。本当にご苦労さまでした。ありがとうございました。

## 立川市・日野市子どもショートステイ事業

現在、至誠学園では立川市・日野市の子ども家庭支援センターからの委託を受け、地域家庭支援事業の一環として、ショートステイ事業を行っております。ご家庭の事情などでお子様の養育が、一時的に困難になった場合、2歳から小学校6年生までのお子様を対象に、短期間(最長一週間)お預かりしています。

ショートステイのご利用に関しての詳しい情報やご相談、お申し込みは下記のセンターにご連絡下さい。

- ・ 立川市子ども家庭支援センター 042-528-6871
- ・ 日野市子ども家庭支援センター 西部 042-589-1260  
東部 042-586-1312

## 後援会からのお願い

常日頃、後援会に対する皆様のご支援に感謝をいたし、御礼申し上げます。平成16年度は、前年度分と合わせて400万円を学園に対して寄附することができました。

昭和43年、施設整備のために処分した学園の土地が競売になったのを機会に、借入金で念願の買い戻しをしました。今後の目標は、その返済資金を応援していきたいので、今年度も変わらずのご支援、ご協力をお願い致します。

新規のご入会も随時受け付けております。子どもたちのためにご支援をいただけますよう、ご入会をお願い致します。

会費の納入につきましては、右記の口座にて承ります。

至誠学園後援会 会長 三田鶴吉

## <後援会ご入会内容>

1. 個人会員 1口(年額2千円)以上
2. 団体会員 1口(年額5千円)以上
3. 賛助会員 寄付金

振込先

口座名:至誠学園後援会

郵便振替口座

……口座番号 00140-2-356681

中央三井信託銀行立川支店

事務局:至誠学園 立川市錦町6-26-15

尚、寄附金につきましては、別途お願いいたします。税金控除など詳しくは至誠学園までご相談ください。

## 海外から多くの方々が視察に来園



JICA 中央アジア混成諸国の青年25名研修・国際厚生事業団よりアジア高級レベル事務官14名視察来園・アジア諸国行政官各国12名(ラオス5名)来園・韓国簡志大学院8名来園・韓国明治専門学校17名見学・外務省からイエメン共和国国會議員 Dr.Oras Sultan Naji 氏来園・外務省より中国ジャーナリスト5名来園

## 今後の予定

### ・彼岸行事(9/24)

元園長菩提寺である青山善光寺に、学園の卒園した故人が奉られていた供養等があります。皆でおまいりに行ってきます。

### ・運動会(10/23)

今年も東京立川ライオンズクラブの皆様のご支援を頂き、紅白に分かれて、学園の子どもたちがスポーツを楽しみます。ぜひ応援にいらしてください。

### ・施設文化祭(11/6)

日本民生文化協会様の主催により、原宿の明治神宮会館ホールにて開催されます。10時半開演で、学園は午前の部に出演、器楽演奏、創作舞踊の2部門に参加します。昭和27年より継続して参加している施設文化祭は、今年で32回目となります。舞踊は、那千谷先生から引継ぎ、現在は秦野先生のご指導のもと、日頃の練習の成果を披露いたします。皆様にご来場いただき、お励ましいただければ幸いです。

### ・初冬のバザー

バザーは12月初旬を予定しております。皆様の変らぬご支援を今後とも、どうぞよろしく願い申し上げます。

## ★編集後記★

涼やかな秋風が朝夕感じられる季節となりました。大変お待たせ致しましたが、今年度最初の学園だよりを皆様にお届けすることができ感激一潮です。今号を仕上げることもできたのも、学園長、施設長をはじめ、広報委員会、当園職員、地域の皆様のご協力の賜物であると感じております。

今年度広報委員は、小池、土居、鈴木という新たなメンバーでスタートし、現在も広報活動に勤しんでおります。ひきつづき、学園をより多くの皆様に知って頂きお付き合いいただけますように、学園のことをより分かりやすくお伝えしていきたいと思っています。

ご意見、ご感想等お寄せいただければ幸いです。

(広報委員会)

## 虐待相談、過去最多3万件超える

6月20日厚生労働省の調べで、全国の児童相談所が2004年度に処理した虐待相談件数は、過去最多の3万2979件となり前年度より約6400件増え、初めて3万件を超えたことが分かった。1990年度の約30倍に上った。

昨年10月に施行された改正児童虐待防止法に伴い、通告義務が「虐待を受けたと疑われる児童」もその対象となったこと、4月から施行された改正児童福祉法で、子どもに関する相談窓口が全国市町村へ受け皿を広げたことなどが、早期発見につながっている効果でもあるが、虐待の広がりは年々深刻さを増している。こうした虐待を受けた子どもの増加から、児童養護施設もまた家庭の代替的な機能に加えて、現在さらに多くの問題に対応しています。(2005年6月20日 読売新聞夕刊より)